

KOIZUMI

— 違う発想がある

KOIZUMI

小泉産業グループ COMMUNICATION REPORT 2026

コミュニケーションレポート2026



Web コミュニケーションレポート 2026はこちら
二次元コードの読み取り、または検索窓より検索ください。

小泉産業 コミュニケーションレポート 2026 | Q

小泉産業株式会社

〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町3-3-7
発行：2026年6月



この製品は、適切に管理されたFSC®
認証林およびその他の管理された供
給源からの原材料で作られています。



この印刷物は、石油系溶剤を
含まない「ノンVOCインキ」を使
い、印刷しています。

〈ダイジェスト版〉
詳細はWebにてご覧ください

「変革への覚悟」が 新たな価値・ 次なる柱を育み、 いい時間を生み出す

小泉産業株式会社
代表取締役社長
矢本 博康

1956年11月生まれ。兵庫県出身。1977年小泉産業株式会社情報システム部入社。2017年より同社にてグループ経営に携わる。2019年コイズミファニテック株式会社代表取締役社長。2022年小泉産業株式会社常務取締役。2023年より現職。



明確になった課題。 覚悟を持って「変革」へ

事業ポートフォリオを再構築せねばならない—2025年度、私たちはそんな喫緊の課題に対して挑戦を続けました。しかし残念ながら、達成は次年度へ持ち越しとなりました。グループビジョン「KGV2030」に向けた基盤づくりの一環として、変革への意志が重要であることを再確認した一年でした。

その中で課題として明らかになったのが、グループ各社における環境変化への対応です。照明事業においては基幹システムの入替えと重なり、LED化という好機を十分につかみきれず、家具事業においても学習デスクという単一の柱に依存した構造から抜け出せなかった。それらが、現在の足踏みを招いた要因であると考えています。

こうした変化への対応の遅れが数字にも表れ、2025年度のグループ単純合計経常利益は前年度の実績を下回る着地となりました。

ただ、組織内部で取り組むべき事業変革に向けた体制整備や収益構造の見直しを改めて強く決意できたことは、将来に向けた重要な収穫だったと私は捉えています。

まずは現状を真摯に受け止め、抜本的な立て直しを図る。そして不確実な時代を突破するための真の変革をここから加速させていく。私は、そう覚悟しています。

グループの総力を挙げ、 空間にこれまでにない価値を

だからこそ2026年度、私たちは停滞を打破します。第7次中期計画方針の最終年度を迎え、増収と収益性の向上を必達目標に掲げます。

今期、家具事業を親会社である小泉産業株式会社へ統合し、グループとしてのシナジーを最大化させます。人々が心豊かに過ごせる「空間」を創造するためには、照明だけでなく家具が不可欠です。これまで支えてくださった販売店様との信頼関係

を大切に守りながら、デジタル活用も含めた新たな売り方を模索しつつ、住空間、商空間、オフィス空間における総合的な提案力を強化していきたいと思えます。

私たちはこのたび、新たにコミュニケーションステートメント「いい時間をつくろう。」を掲げました。その根底にあるのは、提供する製品を通じて、人々の心豊かな時間につながる「空間」そのものを創造したいという想いです。

そうした中で、当社の使命は、グループの総合力を結集して「次の成長の柱」をつくり上げること。

ブランドステートメント「__違う発想がある」を起点に、既存の枠組みを超えた独創的な価値を追求し続けます。社員一人ひとりが問題解決力を磨き、誇りを持って挑戦し続けることで、次なる時代を照らす確かな一歩を全社一丸となって踏み出します。

他のグループ各社トップからの
メッセージは
こちらをご覧ください



いい時間をつくろう。

小泉産業グループの事業は、「__違う発想がある」というブランドステートメントのもと、照明や家具といった製品をつくること、また、コーディネートすること、運ぶこと、ものを設置し仕上げること。つまり、私たちならではのアイデアと高いクオリティで空間創造のお手伝いをすることです。

その事業は、お客様にとってどんな価値を持つのか。考えた末に出てきた言葉が、「時間」です。どんな空間も、人が過ごしてこそ意味がある。そして、人が過ごすということは、時間が生まれるということ。

空間をつくるのが目的なのではなく、そこで過ごす人のことを思い、心地よく快適でその人らしい時間をつくること。それが小泉産業グループの価値であると考え、私たち自身への掛け声ともなるコミュニケーションステートメントを策定しました。



私たちが考える「いい時間」とは何か、そしてグループ各社はそれをどう生み出すのか、こちらをご覧ください

「三方よし」をベースに、 「人格の育成向上」による発展を目指す

今もなお、多くの企業が経営の手本とする近江商人の「三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）」。近江商人をルーツとする小泉産業グループは、その「三方よし」の精神を大切に継承しながら、独自の経営哲学による企業文化を醸成し、300年以上にわたり事業を営んできました。

社章の▼（ミツウロコ）は、得意先、取引先、会社の基盤を築いた先人への感謝を忘れない「三恩主義」の思いを表現。また、企業の永続的な発展の源泉を「ヒト」と捉え、その意味を社是「人格の育成向上」に込め、その本質を継承するための従業員教育を徹底し続けています。

1716年	創業（近江商人 小泉太兵衛 麻布の行商に出る）
1847年	近江屋新助商店開業
1871年	近代創業元年 （大阪 備後町に立木屋森之助商店出店。「創業の精神」ができる）
1904年	小泉合名会社設立 （社章 ▼ を制定。社是「人格の育成向上」ができる）
1915年	小泉重助商店発足
1941年	株式会社小泉商店設立（小泉重助商店を法人化）※のちに小泉株式会社に改称
1943年	五光精機工業株式会社設立 ※のちに小泉産業株式会社に改称

1915年（大正4年）に発足した『小泉重助商店』をルーツに持つ、
現存する小泉グループの各社一覧

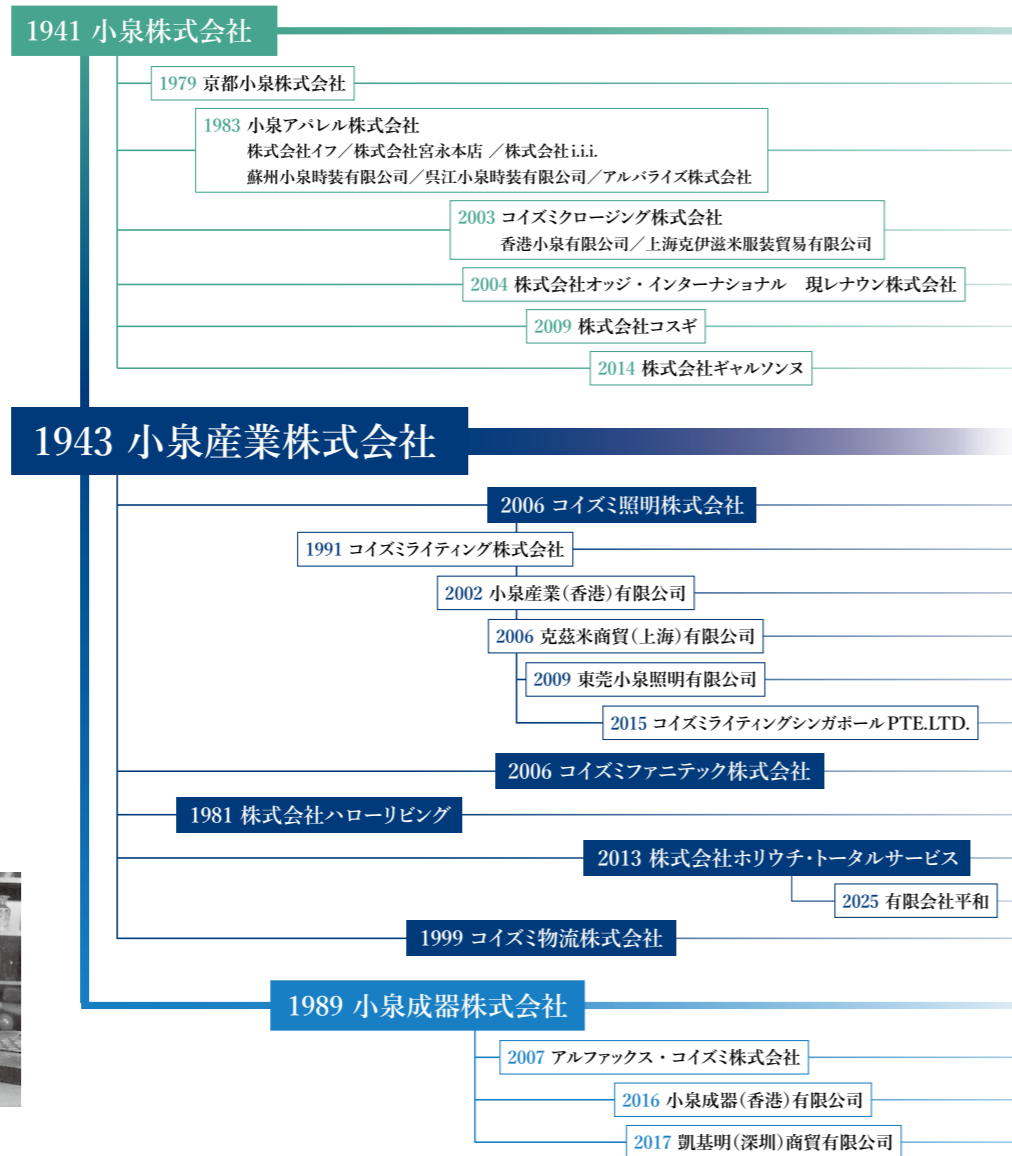
1716
すべての発想の基本
三方よし



昭和20年代の社員教育資料。
当時すでに、マズローの
欲求5段階説に言及



商人道の基本として「人格の育成向上」
の浸透に情熱を傾けた立澤四郎専務(左)



小泉産業グループ概要

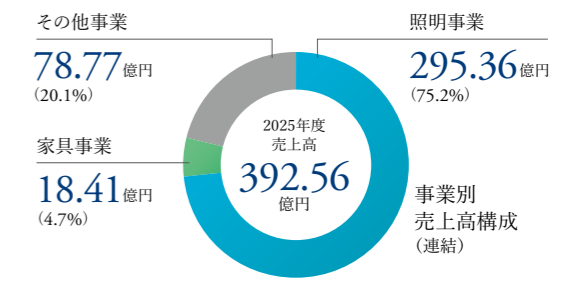
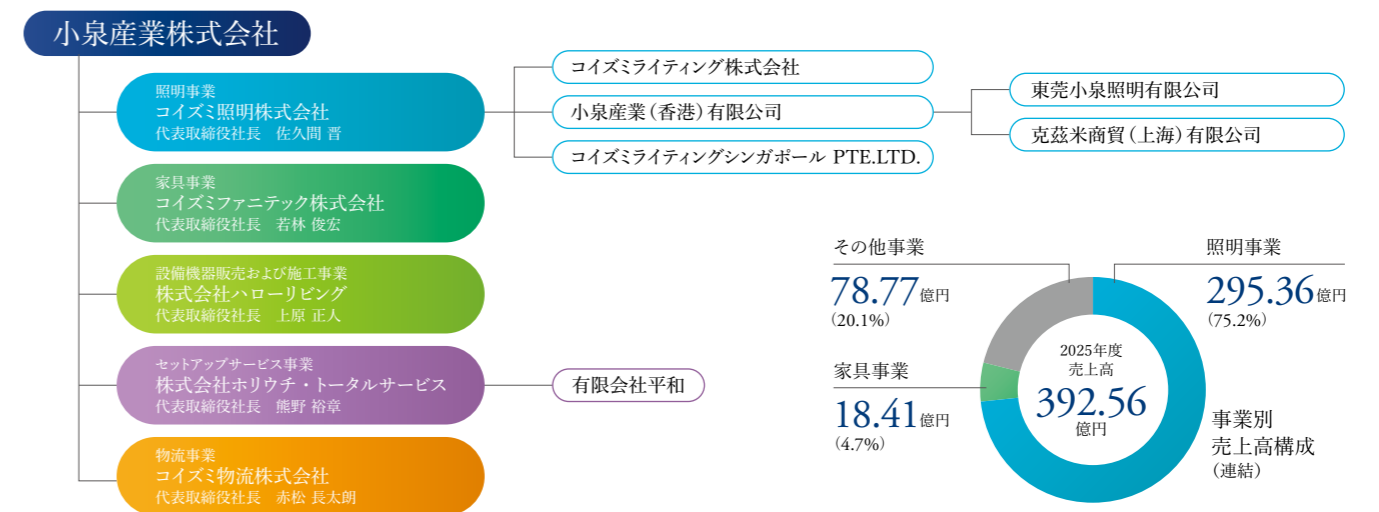
小泉産業株式会社

本社所在地	〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町3-3-7
代表者	代表取締役社長 矢本 博康
創業	1716年（享保元年）
設立	1943年6月25日
資本金	1,575百万円
従業員	グループ合計 1,396名 単体 63名
事業内容	持株会社
子会社	11社

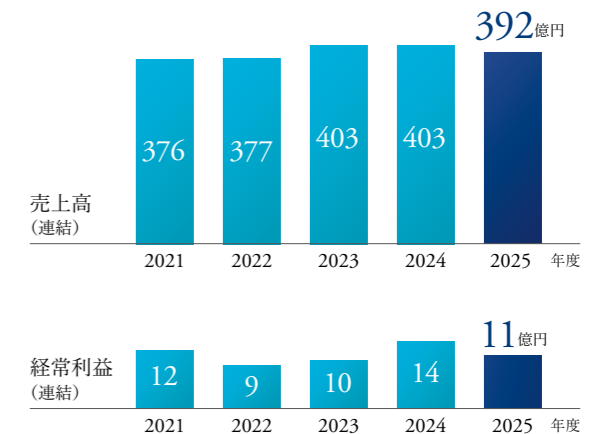
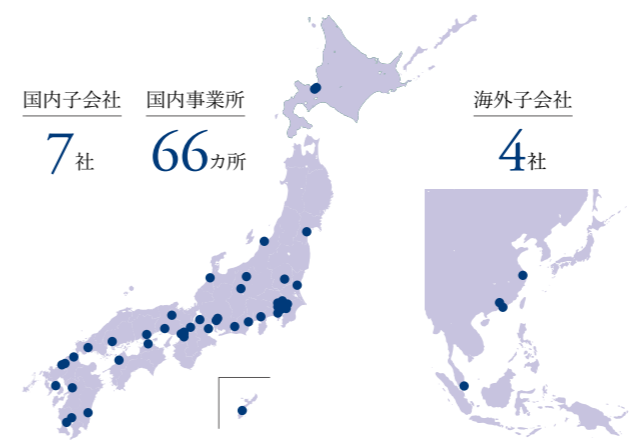
グループの理念

社 是	人格の育成向上
グループ経営理念	新しい着眼と独自の発想で新たな価値を創造し 人と社会に夢と感動をつくり出します
グループ行動理念	<ul style="list-style-type: none"> ●積極果敢にチャレンジし、目標を必達します ●自由活発なコミュニケーションを行い、明るく、元気に、同志とともに進みます ●互いに学び、人間力を高めます ●現場、現物、現象を基本に、お客様の課題を解決します ●三方よしの精神で、信用と信頼の向上を図ります ●社会規範を遵守し、地域、社会、地球環境に貢献します
グループビジョン	私たちは、ゆたかで快適な暮らしを提供する 愛される“価値創造の専門集団”をめざします

グループの体制



国内ネットワークと海外ネットワーク





小泉産業株式会社

新規事業／
シニア向け分譲マンション
「神戸ジェームス山 中楽坊」への
空間プロデュース

シニアの明日を輝かせる照明、家具選び グループシナジーが生きた 「住空間のトータルプロデュース」

小泉産業が核となり、コイズミ照明が光の演出、ハローリビングが、コイズミファニテックの家具も含む家具コーディネートを担当。グループ一体で、住まう人の日々に穏やかな彩りと安らぎをもたらす、質の高い空間をプロデュースしました。

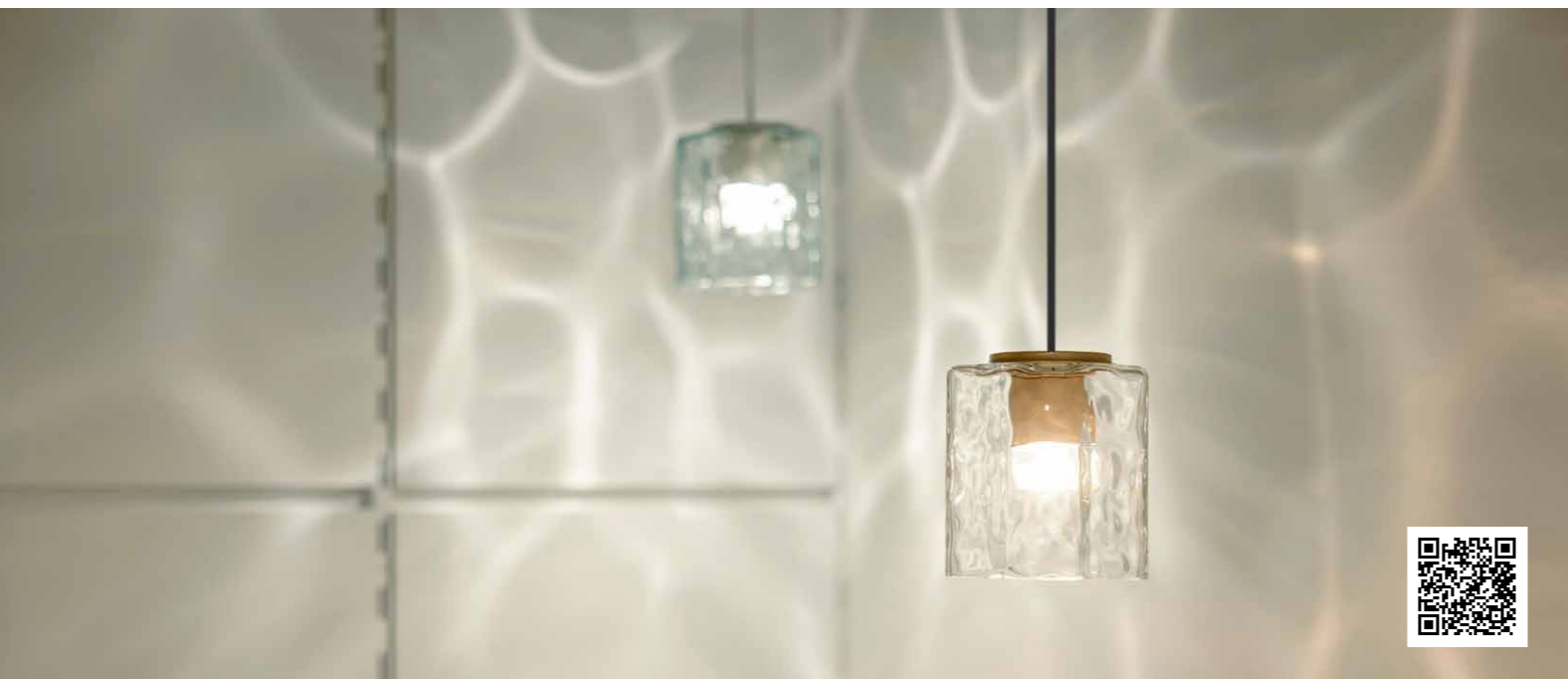


コイズミ照明株式会社

照明事業／
間接照明シリーズ「Light Bar」に
LIXIL様のリサイクル素材を採用

リサイクル素材の採用 その一歩が照らす、もっと明るい未来

LIXIL様が手がける、リサイクルアルミ使用比率70%の循環型低炭素アルミ材材「PremiAL R70」を、間接照明シリーズ「Light Bar」の筐体部に新たに採用。素材を切り替え、資源の循環利用、CO₂排出量削減に貢献しています。



コイズミ照明株式会社

照明事業／光学設計

見えない理想をカタチにする 「あんな光、こんな光」の出発地点

光学設計とは、レンズや反射板などの光学部品を組み合わせて光をデザインする技術・役割のこと。コイズミ照明は開発部門内に専門チームが設置されており、企画室やデザイナーからの要望、顧客ニーズに応じています。



コイズミファニテック株式会社

家具事業／
国内外の展示会「国際ベビー&キッズ EXPO」
「カワイイママフェスティバル in 台北」に出展

学習デスクは「モノ」から「文化・体験」へ 異業種共創&アジア進出で未来を示す

時代の変化に合わせてアップデートしたビジネスモデルを発信すべく、国内外で新たな顧客接点を創出。日本独自の文化を発信し、競合の枠を超えたメーカー共同による出展にも取り組むことで、販路や市場の拡大に挑んでいます。





株式会社ハローリビング

設備機器販売および施工事業/
光電器製作所様 工場照明 LED化
リニューアル

「一部の照明」から「空間全体」へ 時代の変化に合わせたニーズに応え得る提案力

多種多様な既存器具が混在する複雑な環境下で、綿密な現地調査と緻密な工程管理を行い、広範囲にわたる照明設備のLED化を実施。それからプロジェクトのフェーズは進み、工場の顔であるエントランスのインテリアを含めたトータルコーディネートプランを提案しています。

株式会社ホリウチ・ トータルサービス

セットアップサービス事業/
日本ホテル株式会社様
「ホテルメトロポリタン 大井町トラックス」
新規開業に伴う
家具の搬入・設置・施工プロジェクト

お客様との約束を守り抜く そのために困難を乗り越えるホリウチの“現場力”

ホテル開業に伴い、新規家具の搬入・施工・セットアップを担当。家具の輸入遅延という事態に見舞われながらも、若手の采配と熟練の技術を掛け合わせ、迅速な人員再配置と搬入工程の再調整を実現し、高品質な空間を提供しました。



株式会社ホリウチ・ トータルサービス

セットアップサービス事業/
日本ホテル株式会社様
「ホテルメトロポリタン 丸の内」
客室改装に伴う
家具の搬入・設置・施工プロジェクト

営業を継続しながらの改装プロジェクト ホテルの息吹を止めない、 静かなる改装に宿る職人技

営業を継続しながら進めるフロアごとの客室改装プロジェクトにおいて、新規家具の搬入・設置および工事期間中の養生作業を担当。4か月に及ぶ長期の養生維持といった熟練のノウハウと強固な協力会社ネットワークを駆使して完遂しました。

コイズミ物流株式会社

物流事業/
三桂製作所様 全国3PLプロジェクト

深刻化する物流リスク プロフェッショナルが、その最適解を紡ぐ

「物流2024年問題」をはじめとした課題を解決すべく、特定のエリアに限らず倉庫運営などを包括的に担う「3PL」を提案・受託。お客様が扱う電材特有の複雑な品番商材管理や効率的な配送スキームで最適な物流を支えています。

SDGs への取り組み

2030年の 目標達成に向けての サステナブル経営を具現化



SDGsへの取り組みの
詳細はこちらを
ご覧ください

2021年の委員会設置、そして2022年の「コイズミSDGs行動憲章」制定以来、私たちは持続可能な社会への貢献をグループ一丸となってカタチにしてきました。

これまでの現状把握や課題特定のプロセスを礎に、本年度、私たちはグループ全体で「具体的な実行と加速」のフェーズへと踏み出しています。「多様性」の尊重や「働きがい」の向上といった組織としての土台作り、さらには各社の事業特性を活かした28の個別テーマにおける社会価値創造の取り組みは、今やグループそれぞれの現場で力強く動き出しています。その象徴的な事例の一つが、特定されたホットスポットに対するカーボンニュートラルへの挑戦です。

具体的な削減アクションをグループ全体で加速させ、着実な成果へとつなげていきます。私たちはこれからも、日々の仕事を通じて社会への責任を果たし、ステークホルダーの皆様と共に、より良い未来を着実にカタチづけていきたいと考えています。

グループ各社の取り組み

小泉産業株式会社

地域社会の未来を共に創る
「みらいのたからばこ」に参画



世代や組織を超えてプロジェクトを進め、お仕事体験を通じて子供たちの夢や希望を育むイベントに参画し、「学習デスク」のお片づけを「空間デザイナー」体験として展開しました。

小泉産業株式会社

15年目を迎えた
デスク・コタツ寄贈活動



「単にモノを贈るだけでなくヒトを通じてココロも贈る」を大切に、小泉成器と協働し、子どもたちとの交流や組立訪問を実施。デスク、コタツ、加湿器などの寄贈も行っています。

コイズミ照明株式会社

温室効果ガス(GHG)削減目標が
SBT 認定を取得



コイズミ照明グループ2030年GHG削減短期目標が、パリ協定に合致した1.5°C水準であるとして、SBT(Science Based Targets)認定を取得しました。

コイズミファニテック株式会社

海外生産拠点地域の児童養護施設
への学習デスク寄贈活動



第3回目となる海外への寄贈活動を実施。台湾にて、現地製造会社協力のもと、スタッフが児童養護施設を訪問し、子どもたちと一緒に組み立て作業を行いました。

グループ共通テーマ

テーマ	目標/指標	2030達成値
多様性の拡大と 持続可能性を高める 企業文化の醸成	管理・監督職 (室長・課長以上) 女性リーダー比率	小泉産業・コイズミ照明・ コイズミファニテック・ハローリビング 30% ホリウチ・トータルサービス 15% コイズミ物流 20%
2050 カーボンニュートラル宣言に 呼応したグリーン調達の実現	GHG(温室効果ガス) の削減	各社ホットスポット 2022年度比 15% 以上削減
働きがいのある職場づくり	エンゲージメントの向上	エンプロイーエンゲージメント値 偏差値 50 以上

グループ共通テーマ

株式会社ハローリビング

「ありがとう」をコインに乗せて
社員をつなぐツールを導入



「働きがいのある職場づくり」として、SNS型コミュニケーションツール「サンクスギフト」を活用しています。日々の小さな感謝を「コイン」に見立てて贈り合い、対話が活性化しています。

株式会社ホリウチ・トータルサービス

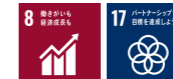
高齢者介護施設の
無償リフォームに協賛



計19社が協力したリフォームプロジェクトに、セットアップ業専門として無償参画しました。入居者様が快適に過ごせる空間づくりにおいて、家具の搬入設置で重要な役割を担いました。

コイズミ物流株式会社

サプライヤー企業との
SDGs 協働推進



全国各地のサプライヤー企業様の具体的な活動内容を基に、活動未実施の企業様にも参画いただける施策を検討し、CO₂可視化セミナーを開催するなど、協働での活動を進めています。

小泉産業グループ

全国地域清掃活動



2010年より、全国に約60カ所あるグループ各社の事業所で、普段からお世話になっている地域社会への感謝の気持ちを込めて清掃活動を行っています。